

いつも、そばで、暮らしにつながる

平成28年3月期第2四半期決算参考資料

イワブチ株式会社

IWABUCHI CORPORATION

JASDAQ 証券コード 5983

平成27年10月30日

イワブチ株式会社

平成28年3月期第2四半期の業績



主要取引先であるNTTにおいては、光サービスの提供エリアがほぼ充足し、新たに光ファイバーを敷設する計画が縮小していることから、設備投資が抑制傾向となっており、厳しい受注環境となっております。

配電線路関連においては、九州電力川内原子力発電所が再稼働したものの、他原子力発電所は依然として稼働停止となっており、代替発電燃料費増加の影響で、設備投資は抑制傾向にあります。しかしながら、再生可能エネルギーに付随する工事や老朽化設備の更新工事等、一部工事については、回復の兆しがみられ、関連製品が好調に推移しました。

生産部門では、国内において工程集約によるコスト削減を推進しました。また、中国の海陽イワブチにおいても、設備効率化を図り価格競争力のある製品の生産に取り組みました。

営業部門では、NTT・電力会社向け新製品の市場投入をはじめ、コンクリート柱の建替関連製品、街路灯・防犯灯LED化関連製品の拡販など積極的な営業を展開しました。

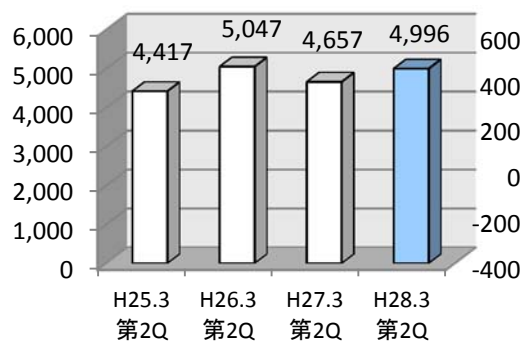
■ 平成28年3月期第2四半期連結決算概要(P/L)

いつも、そばで、暮らしにつながる

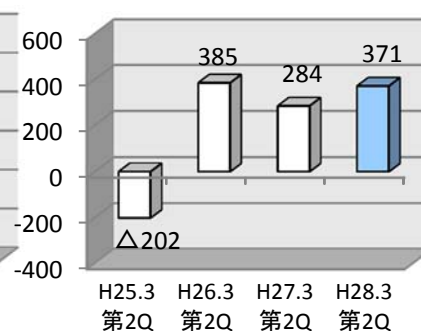
単位:百万円

	平成25年3月期 第2四半期	平成26年3月期 第2四半期	平成27年3月期 第2四半期	平成28年3月期 第2四半期
売上高	4,417	5,047	4,657	4,996
営業利益	△ 202	385	284	371
経常利益	△ 167	469	380	435
四半期純利益	△ 48	306	278	269
1株当たり四半期純利益	△4円42銭	27円91銭	25円36銭	24円84銭

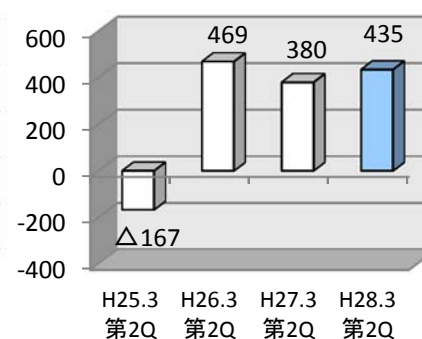
売上高



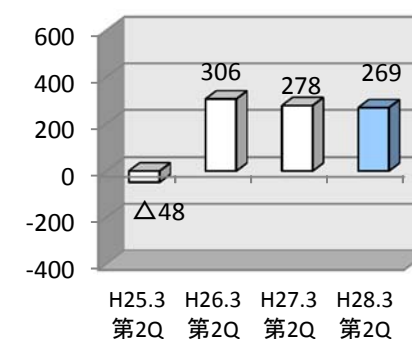
営業利益



経常利益



四半期純利益



■ 平成28年3月期第2四半期連結決算概要(B/S・C/F) いつも、そばで、暮らしにつながる

貸借対照表

単位:百万円

	平成27年3月期	平成28年3月期第2四半期	増減額
流動資産	10,905	10,711	△193
有形固定資産	5,965	5,884	△80
無形固定資産	113	108	△4
投資その他の資産	1,628	1,612	△16
資産合計	18,612	18,316	△295
流動負債	2,508	2,309	△198
固定負債	935	906	△29
純資産	15,168	15,100	△67
負債純資産合計	18,612	18,316	△295

キャッシュ・フロー計算書

	平成27年3月期第2四半期	平成28年3月期第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	394	556	162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13	△94	△81
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156	△356	△199
現金及び現金同等物の増減額	230	103	△127
現金及び現金同等物の期首残高	2,555	3,157	601
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,786	3,260	473

■ 需要分野別売上高(連結)分析(平成28年3月期第2四半期) いつも、そばで、暮らしにつながる

売上高合計:4,996百万円

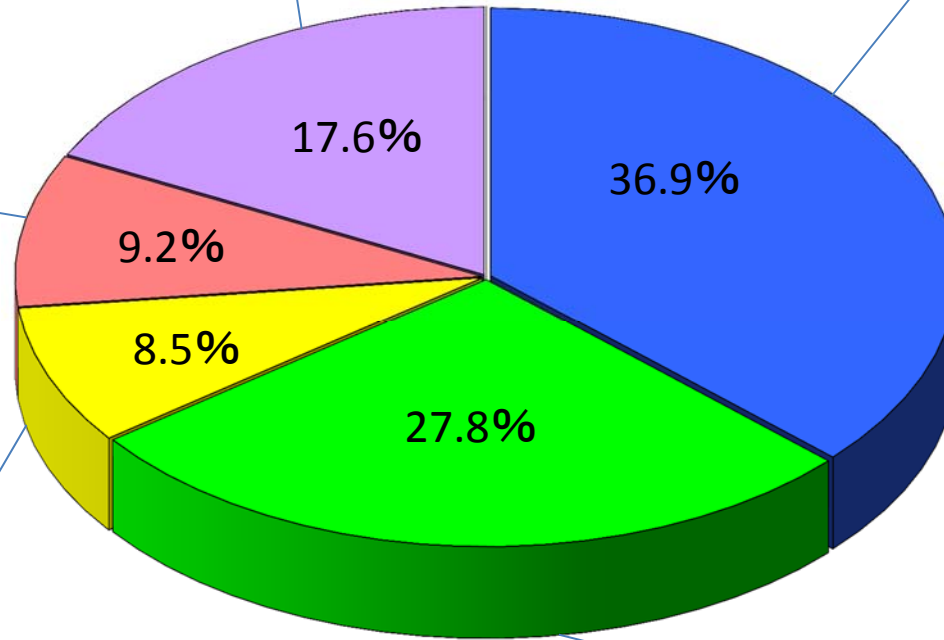


交通信号・標識・
学校体育施設関連
461百万円



□ その他
878百万円

■ 配電線路関連
1,842百万円



ブロードバンド・
防災無線関連
422百万円

■ 情報通信・電話関連
1,391百万円

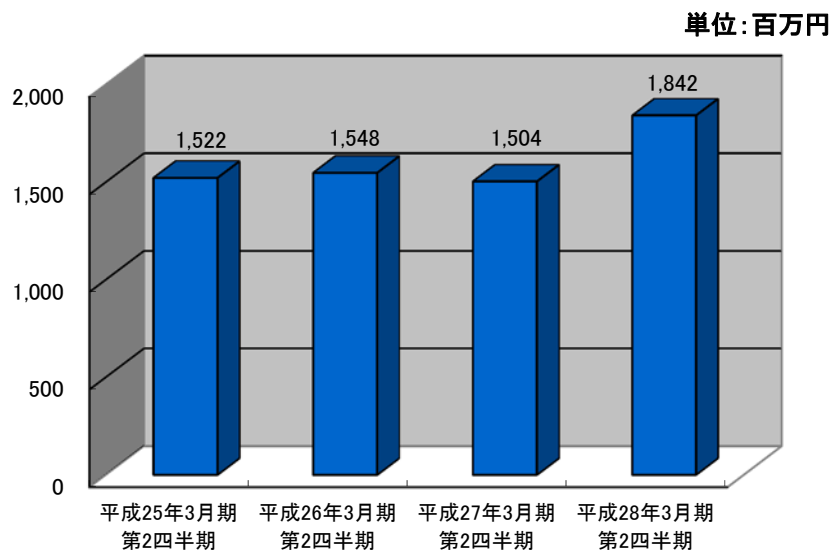


■ 配電線路関連

いつも、そばで、暮らしにつながる

配電線路関連は、九州電力川内原子力発電所が再稼働したものの、他原子力発電所は依然として稼働停止となっており、代替発電燃料費増加の影響で、設備投資は抑制傾向にあります。

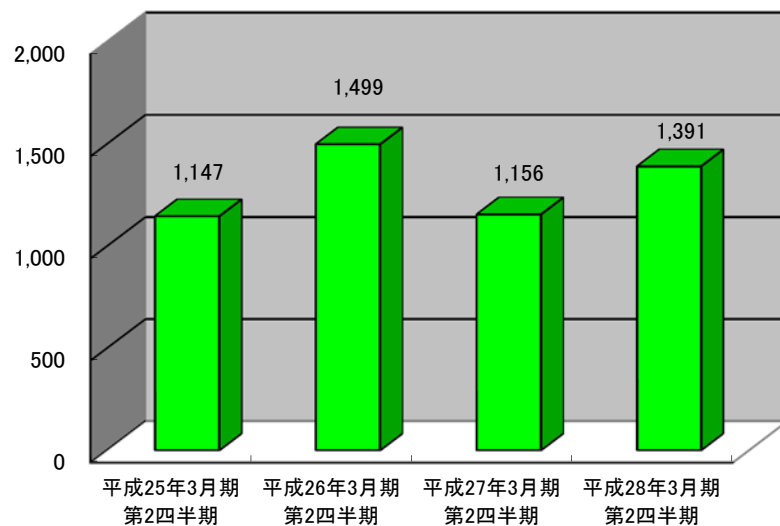
しかしながら、再生可能エネルギーに付随する工事や老朽化設備の更新工事等、一部工事については、回復の兆しがみられ、関連製品が好調に推移しました。その結果、売上高は1,842百万円と前年同期に比べ337百万円、22.4%の増収となりました。



(施工例)配電線路関連金具

情報通信関連は、設備投資抑制の影響により移動体アンテナ設置工事が低調に推移しました。また、電気通信事業者による光伝送路工事も補改修工事が中心となり低調に推移しました。一方、電話関連は、関東・北海道エリアを中心にコンクリート柱の建替関連製品が好調に推移しました。その結果、売上高は1,391百万円と前年同期に比べ235百万円、20.4%の増収となりました。

単位：百万円



(施工例) 電話関連金具

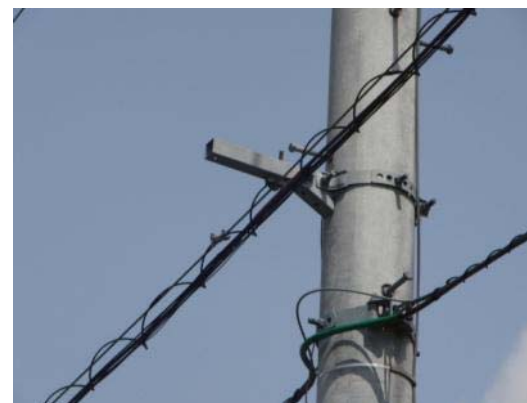


(施工例) 電柱補強板

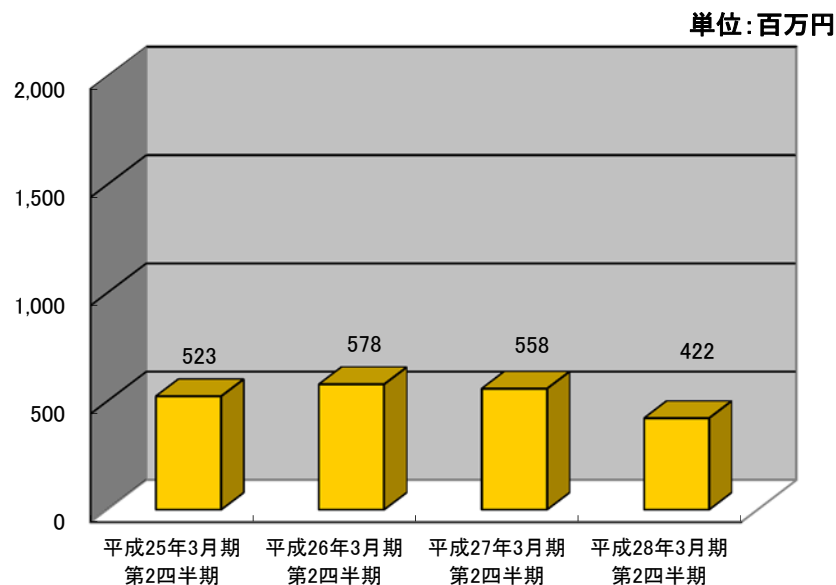
■ ブロードバンド・防災無線関連

いつも、そばで、暮らしにつながる

ブロードバンド関連は、物件数の減少に加えて、市場価格の下落により、受注高が減少しました。また、防災無線関連においても、小規模な補改修工事が中心となり、低調に推移しました。その結果、売上高は422百万円と前年同期に比べ135百万円、24.3%の減収となりました。



(施工例)ブロードバンド用金具

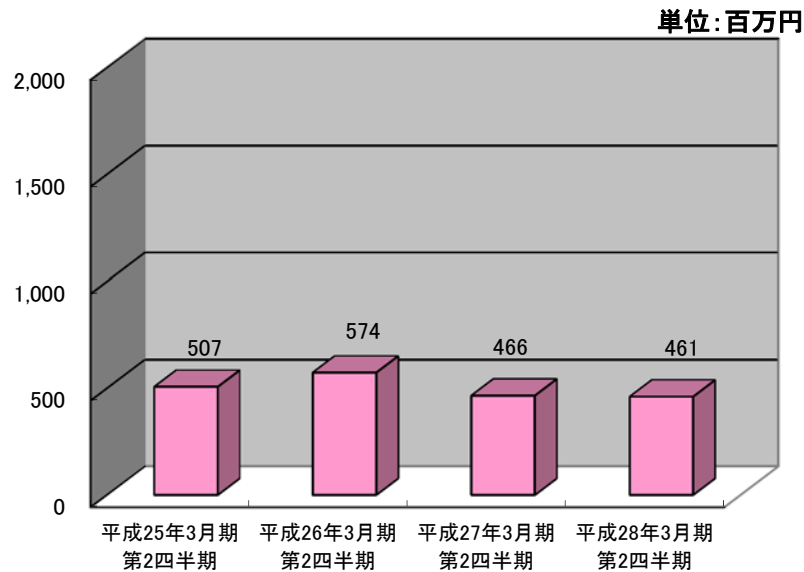


(施工例)防災無線用金具

交通信号・標識・学校体育施設関連

いつも、そばで、暮らしにつながる

学校体育施設関連は、全国的に堅調に推移しました。また、交通信号・標識関連においても全国的にコンクリート柱の建替や信号機のLED化工事が堅調に推移しました。その結果、売上高は461百万円とほぼ前年同期並みとなりました。



(施工例)
信号灯器取付金具



(施工例) 標識取付用金具

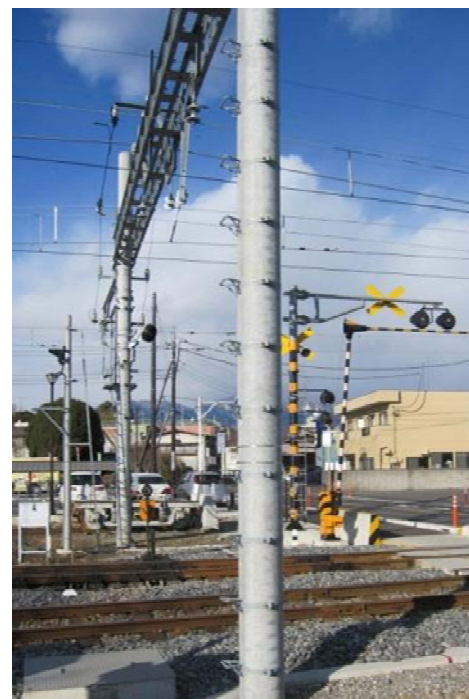
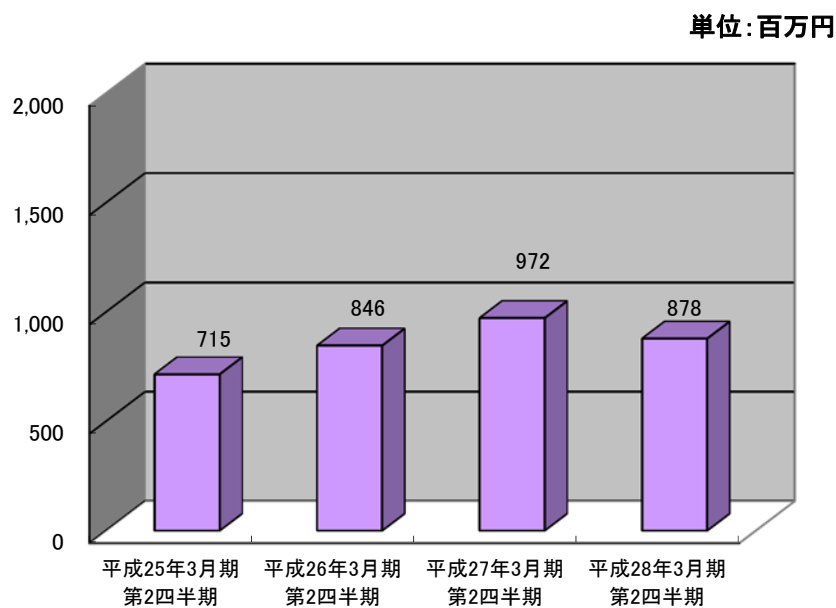


(施工例) 防球ネット用品

■ その他

いつも、そばで、暮らしにつながる

民間設備投資等は、全般的に公共工事も含め小規模な保守工事中心の動きとなりました。また、鉄道関連において、JR向け足場取付工事の繰り延べが発生致しました。その結果、売上高は878百万円と前年同期に比べ93百万円、9.6%の減収となりました。



(施工例) 鉄道用足場金具



(施工例) LED防犯灯

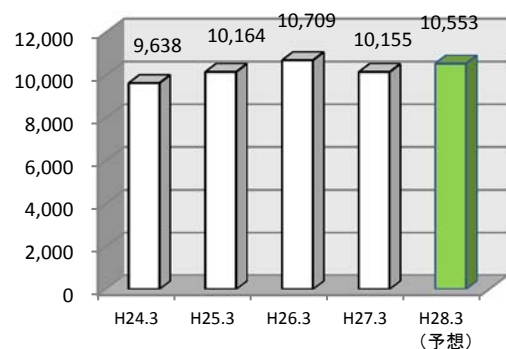
■ 平成28年3月期の連結業績予想

いつも、そばで、暮らしにつながる

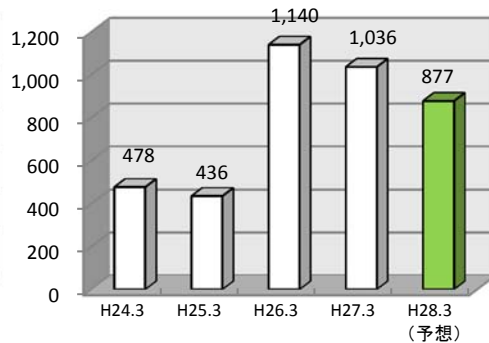
単位:百万円

	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期 (予想)
売上高	9,638	10,164	10,709	10,155	10,553
営業利益	478	436	1,140	1,036	877
経常利益	414	536	1,283	1,139	1,010
当期純利益	129	362	689	752	686
1株当たり当期純利益	11円82銭	33円02銭	62円71銭	68円45銭	63円89銭

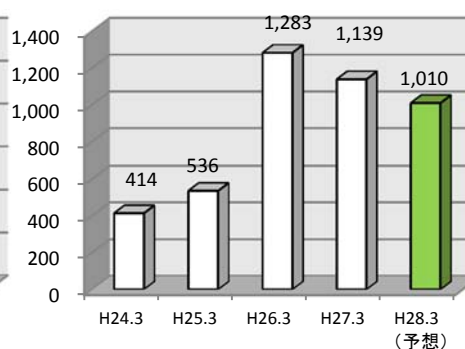
売上高



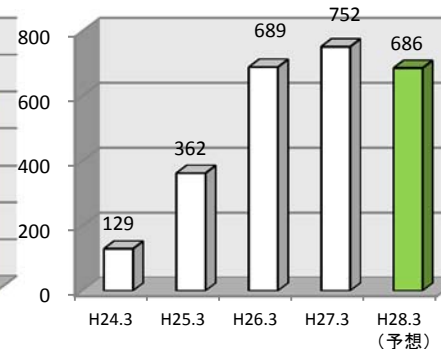
営業利益



経常利益



当期純利益



資料取扱上のご注意

本資料は、現時点における経営環境予想に基づいております。よって、本資料において、当社グループの今後の業績を保証するものではないことを、ご承知おきください。